

くれよん

残暑が続く中、夏の疲れが出る季節になりました。長期休みなどで生活リズムが崩れがちにならないよう、しっかり寝る・食べる・遊ぶ、を基本に毎日を過ごして欲しいと思います。

また、日常におけるお子さんの悩み、不安などがありましたらいつでもスタッフにご相談ください。

体調不良や用事などで指導をお休み
する場合は、必ずご連絡ください

TEL 0123-76-7360

今年のプール指導は10月29日で
終了となります。

子どもに届くことばかけ できるだけ肯定的なことばをかける ～注意や命令ばかりしていませんか？～

講談社
「魔法の言葉かけ」
より

肯定的に言いかえ、プラスの
行動を意識させると……



「ダメ！〇〇しないで！」「もう、早くしてよ！」「違うでしょ。何度言ったらわかるの」…気が付けば子どもに向かって、注意や命令、あるいは行動を否定するようなことばばかりかけていませんか？

こうしたことばをかけるときは、どうしても強い口調になりがちです。一方、毎日のようにそんなことばを聞かされる子どもの方は、「また怒ってる」とうんざりしたり、親の口調に脅えたりして、話の内容を理解しようとする気力がそがれてしまいます。

ところが同じことを伝える場合でも、言い方ひとつで子どもが受け止める印象は随分変わります。

注意したり指示を出す時、子どもが前向きに受け止められることばのかけ方を考えてみましょう。まず第一のポイントは、出来るだけ肯定的なことばかけをすること。言い換えれば、「〇〇しちゃダメ！」「〇〇しないで！」といった否定的なことばをなるべく使わないということです。

「走っちゃダメ！」→「歩こうね」「コップ落とさないで！」→「コップしっかり持ってね」
「片付けしないとテレビ見せないよ！」→「片付け終わってからテレビ見ようね」

とは言え、子どもと一緒にいれば、思わず「ダメ！」と言いたくなる場面もありますね。たとえば何でも口に入れたがる子どもが石をくわえそうになったら、次のような対応をしてください。

まず、子どもの行動を手で制します。その後は笑顔で「石、ちょうだい」、石を受け取ったら「ありがとう」と言います。これなら否定的なことばを使わず、しかも最後の「ありがとう」で子どもをいい気持ちにさせて終わらせることができます。






ところが頭から怒ってしまうと、子どもは自分の失敗を引きずって落ち込むか、逆に強い反発心を抱いてしまいます。もちろん、危険な行動など、してはいけないことを叱って教えるのは大切な事です。ただし、いつも感情的に怒るのはやめましょう。日頃は肯定的な言葉かけを心がけたほうが、こころざしというときの厳しいことばにも効き目があります。

言い方ひとつで子ども
が前向きに！

🍙 9月の予定

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1	2 児相巡回相談	3 	4	5	6	7
8	9	10 	11	12	13	14
15	16	17 	18	19	20	21
22	23	24 	25 乳幼児健診 指導お休み	26	27 PM 武藤休み	28
29	30					

🍙 10月の予定

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
		1 道立施設専門 支援事業 	2	3	4	5
6	7	8 	9	10	11	12
13	14	15 丹羽休み 	16	17	18	19
20	21	22 	23	24	25	26
27	28	29 	30 乳幼児健診 指導お休み	31		